

# No. 1491

## 自衛隊観閲式

— 埼玉・朝霞 —

昭和59年度自衛隊観閲式が10月28日埼玉県朝霞の陸上自衛隊朝霞訓練場で行なわれました。

陸・海・空の各部隊を巡閲したあと、中曽根首相は「21世紀に向けて政治・外交・文化・防衛問題等あらゆる面で総点検と共に、新しい道を切り開らく事に努めるべきだ」と訓示。

観閲行進では防衛大学校を先頭に徒歩部隊4,000名が行進。空からは103機の観閲飛行のあと車輦部隊の装甲車、対空誘導弾ホーク等275両が参加した。今年で30年目を迎えた自衛隊。「国を守る」自衛隊の役割がより高まりつつあるようです。

## 新札うらおもて

11月1日から新札が発行されました。一萬円札、五千円札、千円札の三種類が一斉に替えられたのは初めてのこと。この日、日本銀行では地下の発券局で民間の金融機関への支払い作業が始まりました。新札は今日一日だけで全国で凡そ8200億円、富士山の4.8倍の量。

新しいお札のおもては福沢諭吉、新渡戸稲造、夏目漱石の明治の文化人が選ばれました。おもての有名さにくらべてうらは見過ごされがちですが、おもてと同じく専門家の苦心の作です。千円札は丹頂ヅル。五千札は本栖湖の逆さ富士。富士山の写真で有名な岡田紅陽氏が戦前に撮ったもの。現場はアマチュアカメラマンや観光客でにぎわい始め、新名所になりそうな気配です。

一萬円札は一對の日本キジ。「モデルになったのはうちのキジです」と名乗りを上げたのは神奈川にある真鶴サボテンランド公園。入口に看板をつくりPRに懸命です。モデルになったおかげで放し飼いの仲間から隔離され逆にカゴの鳥。有名になるのもつらいことです。

新しいお札に影響を与えるのは政治の動き。同じ11月1日第二次中曽根内閣が正式にスタート。厳しい世の中。国民のためにうらおもてのない政治を期待したいものです。